解答例

			, ,	, ,			_		
正	ば	を	か		え	た	()	め	
L	`	覚	ら	わ	た	保	2	L	
さ	相	え	\neg	た	小	護	10	な	つ
は	手	7	お	L	学	者	つ	さ	0
۲	10	1,1	礼	ŧ	生	\mathcal{O}	1,	()	グ
て	不	る	は	`	0	割	7		ラ
ŧ	快	0	言	人	割	合	`	2	フ
大	な	$\overline{}$	っ	か	合	が	身	()	か
切	思	あ	た	b	ŧ	最	10	う	b
だ	<i>()</i>	1)	\mathcal{O}	物	高	ŧ	つ	お	は
۲	を	が	_	を	()	高	1+	礼	`
思	さ	۲	۲	ŧ	-	<	7	や	\neg
ì	せ	j	ょ	Ġ	2	,	お	謝	あ
0	7	_	<	っ	が	$\overline{}$	<	罪	1)
	l	が	注	た	わ	で	べ	\mathcal{O}	が
	ŧ	言	意	۲	か	き	き	言	2
	j	え	さ	き	る	る	だ	葉	j
	0	な	N	10	0		۲	を	
	礼	け	た	`		2	答	言	\neg
	儀	N	0	母		答	え	う	
200	11	1 1	1 1	1 1	100	1	1	1	1

解説

グラフが示されたときは、それが何についてのグラフで、どの項目が最も多いのか(あるいは少ないのか)を確認しましょう。そして、二つのグラフの関係にどんな関係があるかを考えるとヒントを得られることも多いです。今回のグラフは、「自立した生活を営むうえで必要な資質・能力」について、保護者と小学5年生の回答の割合が示されています。それぞれの項目について自分自身のことをかえりみながら、注目するポイントを決めるとよいでしょう。